

第7期 東久留米市地域産業推進協議会
第7回会議録

- 1 日 時 令和5年3月28日(火) 午後6時04分～午後6時55分
- 2 会 場 東久留米市役所7階703会議室
- 3 出席者等 (敬称略・五十音順)

赤星 良平	伊藤 知広	伊藤 成美	榎本 義樹	大山 裕嗣	齋藤 正人
篠宮 宣典	土田 健太郎	野崎 林太郎			

欠 席：秋田 茂良、大川 賢誠、竹村 俊斗 (オブザーバー)、多功 敬

1 開 会

2 挨拶

3 報 告

4 議 事

- (1) 協議会報告書について
- (2) 第7期協議会の総括 (各委員より感想・意見)
- (3) 協議会報告書の市への提出について

5 連絡事項

- (1) 委員からの連絡
- (2) 事務局からの連絡

6 閉 会

1 開 会

【事務局】

ただいまから、第7回東久留米市地域産業推進協議会を開催する。

2 挨拶

【会長】

本日は、第7期の最後の地域産業推進協議会ということで市長にもお越しいただいており、後ほど、この2年間の報告書を提出させていただく。第7期では、1年目は新型コロナウイルス感染症の影響で、引き続き制約がある中での活動を強いられたが、2年目には様々な企画を実施することができた。企画を通じて、委員の皆様の東久留米市への素晴らしい想いを形にでき、市民に喜んでいただけたことが報告書にも記載されている。改めて、皆様の東久留米市への想いを共有できた素晴らしい2年間であったと感じている。後ほど、この2年間の総括としてご意見等を伺わせていただくので、よろしく願います。

【事務局】

次第では、議事の最後に市長へ報告書を提出することとなっているが、他の公務の都合により順番を変更させていただき、ここで「協議会報告書の市への提出」を行わせていただきたい。

4 議 事

(3) 協議会報告書の市への提出

会長、事業部長から報告書を市長へ提出

【市長】

第7期の地域産業推進協議会では、会長を始めとした委員の皆様にご尽力いただき、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも大盛況であったナイトマルシェなど様々な取り組みをしていただいたことに心から感謝する。ただいま報告書をいただいたが、地域の活性化を進めるためには、報告書を受け取って終わりということではなく、第8期の地域産業推進協議会委員、そして我々市役所職員もさらに前に進んでいかなければならないと考えている。これまで長きに渡って献身的に地域を支えていただいた経験豊富な委員も第7期でご勇退されるとのことであるが、引き続き、様々な場面でご指導いただきたいと思う。また、第8期の地域産業推進協議会の委員の皆様には、これまでに蓄積されたものがタスキとなって渡されていくことになる。行政単独では動きづらい部分など、地域産業推進協議会の皆様の柔軟な発想と行動力をお借りして、地域の活性化に向かっていきたい。第7期の委員の皆様改めて感謝申し上げて挨拶とさせていただきます。

市長退席

3 報 告

事務局、商工会、JA、JC ともに特になし

4 議 事

(1) 協議会報告書について

【事務局】

第7期の報告書の作成に当たっては、各事業部で調製いただいた報告内容を事務局で取りまとめ、フォントや表現が統一となるように修正した。その後、委員の皆様へ送付してご意見等を募ったところ、特にご意見等はなかったため、事務局において表紙の（案）を取るなどして確定とさせていただいた。

【会長】

事務局から報告書確定までの経緯を説明いただいた。すでに委員の皆様には内容をご確認いただいているところであるが、この「東久留米市地域産業推進協議会報告書」を報告書とすることに異議はあるか。

【一同】

異議なし。

【会長】

この報告書を確定版とする。

(2) 第7期協議会の総括（各委員より感想・意見）

【会長】

第7期地域産業推進協議会の総括として、各委員から感想や意見をお願いします。

【委員】

情報発信推進事業部会で活動する中で感じたことは、企画する側と、参加する側では、考え方や感じるものが違うということである。参加する側は、楽しみたい、情報を得たいといった視点で見るが、企画する側は、事業に対して反省したり、参加者のご意見など東久留米市に住む様々な人たちの気持ちを大事にしていく必要があると感じることができ、この2年間は大事な2年間となった。まだまだわからないこと、これから考えていかなければならないこともあるが、次につながるようがんばっていきたいと思っているので、引き続きよろしくお願ひしたい。ありがとうございました。

【委員】

情報発信推進事業部会の中で、「はしチョコ」の SNS を中心に情報発信を行った。ハッシュタグの使い方を工夫したり、情報発信セミナーで学んだことを実践するなどして、リーチ数等も順調に伸びてきているが、「情報発信」に終わりはない。今は、委員や市職員等

が投稿内容を探して発信しているが、今後「はしチョコ」で投稿してほしい等の依頼が来るようになれば次の展開に進んでいけるのではないかと考えている。そのために、様々なところにアンテナを張って情報発信していけば良いと思う。2年間ありがとうございました。

【委員】

当初は、新型コロナウイルス感染症の影響下でイベント推進事業部として活動することの難しさに不安があった。ナイトマルシェは周りの方々にも評価いただいているが、イベント推進事業部の他の委員の皆様にも助けをいただきながら、事務局にも一所懸命に取り組んでいただきながらの結果である。自分の中ではまだやれることがあると感じているので、これからもがんばろうと思っている。第7期までで地域産業推進協議会をご卒業される方々には、様々な面で助けをいただいていたので大変感謝している。ありがとうございました。

【委員】

この2年間、地域産業推進協議会に関わっている皆様の魅力的なパーソナリティや実行力など学ぶことが多かった。イベント推進事業部会で思ったこととして、1つ目は、一人ではできないことをやらせていただいたということが大きい。農業だけではできないこと、一企業だけではできないことを、垣根を越えて様々な産業の方とつながって、行政側の支えもあって、できることが広がったという感覚をもっている。こうした機会をいただけて本当に良かったと思う。2つ目は、良いメンバーに恵まれたということである。ナイトマルシェでは、実施するまで半分以上の会議で、具体案ではなくコンセプト決めのようなところを話し合っていた。既存のイベントを真似して実施するだけならば簡単に実施できたと思うが、このメンバーで一人一人が真剣に、課題や、やりたいといったことを詰めていくことができたことから成功につながったのだと思う。やりたいことが決まってからは3か月くらいで実施まで進んだが、メンバーの皆様のその突破力も勉強させていただいた。また、ナイトマルシェは市長からも評価いただいたが、どんなことでも賛否両論があると感じている。どんな場合でも否定的な意見はあるので、そうした批判を真摯に受け止める姿勢は持ちつつも、新しいことをすることに臆病にならずに挑戦していければ良いと思う。最後に、来年度以降も関わらせていただく立場として、事業を実施する中で感じた課題は、第8期以降で考えていきたいし、新しく加わる委員の意見も生かしていきたいと思う。今回でご卒業される委員の皆様からは、直接的、間接的に、様々な姿勢を見させていただく中で、私なりに感じることもあり、そうしたことも生かしていきたいと思う。ありがとうございました。

【委員】

1年目は新型コロナウイルス感染症の影響もあって会議しかできなかったが、2年目は、ナイトマルシェ、食事が自分で選べるランチショーなど素敵なイベントに参加させていただくことができた。特にランチショーでは集客といった部分では難しい部分もあったが、

様々な方が関わる中でより良い仕組みを作っていくといった部分に関わることができて良かったと思っている。私はこれまで、別の地域の商工会等で、様々な地域の話の聞いたり触れたりしてきたが、商工業者と農業者と市の職員が一体となって何かに取り組むような経験はなかった。こうした経験ができて大変勉強になったし、少しでも関わることができてうれしかった。ありがとうございました。

【委員】

第7期の地域産業推進協議会から委員となって何もわからない状況からスタートしたが、事業部長のご指導のおかげで成長できたと思っている。新産業創出推進事業部は、会議を重ねるたびに難しい事業部であると感じ、非常に苦勞したが、私としては、最後に開催した勉強会が一番印象に残っている。多数の方にご参加いただいて意見交換をした中で、東久留米市をもっと魅力的なまちにしたいといった、様々な方の、色々な想いを聞かせていただき、そうした想いを少しでも形にできるように私も貢献していきたいと感じた。引き続き、委員としてがんばらせていただきたいと思っているが、ここでひと区切りということで、皆様には大変お世話になった。ありがとうございました。

【委員】

1年目は事業ができなかったが、2年目は新産業推進事業部会だけではなく、地域産業推進協議会全体としても事業ができて本当に良かったと思っている。当初、新産業推進事業部会を設置したときには、一番早く税収増に結び付く事業部として立ち上げたつもりだったが、時間がかかってしまったと感じている。ただ、この事業部を設置して実施してきた準工業地域の活用などに向けた取組みが、7、8年経って芽が出てきているので、新産業推進事業部会の取組みが今後実を結び、これからの東久留米市にとって有益なものになってくるのではないかとと思っている。少人数の事業部であったが、ともに取り組んでくれた事務局には感謝している。私が言いたいことは2月の勉強会で全て言わせていただいたが、本日皆様の話を聞いて本当に頼もしいと思ったし、今後の地域産業推進協議会の取組みが良いものになってくると思うので楽しみである。私自身は地域産業推進協議会から離れるが、東久留米市から離れるわけではないので、これからも応援させていただく中で、別の立場で皆様と何かできたらと思っている。2年間ありがとうございました。

【副会長】

2年間活動させていただいた間、事務局には新型コロナウイルス感染症の影響に配慮した会議の設営をしていただき感謝する。正論を言うのが行政であると思うが、正論だけでは物事は先に進まない。だから地域産業推進協議会という組織があって、行政だけでは進まないところを進めているのだと思う。私も含めて第7期で地域産業推進協議会を卒業する委員もいるが、今後も何かあれば私たちを頼っていただければと思う。ありがとうございました。

【会長】

今回私も卒業となるが、第1期から14年の間、地域産業推進協議会に関わらせていた

だき、様々な活動を行うことができた。私が会長の立場になってから目指したのは、先日のWBCの侍ジャパンの姿で、プレイヤーである委員の皆様が、楽しんで、思いの丈を言いながら意見交換をして、その中で団結力を高めていく、結果を出していくという姿である。そのためには、事務局との連携が特に大事なので、今後第8期の地域産業推進協議会が設立されたときには、事務局の皆様も含めて地域産業推進協議会の仲間として、皆様を楽しんだ上で想いを具現化する喜びを知ってほしいと切に願う。地域産業推進協議会は、様々な経験をさせていただいた場であり、今回、私も卒業となり名残惜しいところである。本当に長い間、ありがとうございました。

4 議 事

(3) 協議会報告書の市への提出

【会長】

最後の(3)協議会報告書の市への提出については、すでに提出させていただいたため、次第5連絡事項に進めさせていただく。

5 連絡事項

(1) 委員連絡

(2) 事務局連絡

委員、事務局ともに特になし

6 閉 会

【事務局】

閉会に当たり、事務局及び市民部長からも挨拶をさせていただく。

事務局各位から挨拶

【市民部長】

本日をもって、第7期の地域産業推進協議会については最後となるが、委員の皆様のご尽力に心から感謝する。地域産業の活性化やまちの魅力の発信は大事なことではあるが、行政の力だけではできない難しいことであると実感している。地域産業推進協議会の委員の皆様は、それぞれのお仕事の中でも活躍されながら、地域産業推進協議会の委員としても活躍していただき、そうしたご貢献がある中で、地域が盛り上がってきていると感じている。また、皆様の地域のつながりの中で、委員以外の方にもご協力いただきこともあったと思っており、そうしたつながりが東久留米市にとって大切な宝であると考えている。第7期をもってご勇退される委員もいるが、これからもそれぞれの立場、様々な場面で、東久留米市の発展のため、地域のためにお力添えをいただきたい。第8期では約半分の委

員が入れ替わる予定であるが、これまでとは違った視点、新しい視点も出てくると思っており、そうした意見交換ができることを期待している。事務局も含めて、力を合わせて地域産業の活性化のために盛り上げていきたいと思う。結びに、地域産業推進協議会の委員各位のこれまでのご尽力に改めて感謝するとともに、今後のさらなるご活躍を祈念して、挨拶とさせていただきます。皆様、本当にありがとうございました。

【事務局】

これで第7回東久留米市地域産業推進協議会を閉会としたい。